

## 川上久壽名誉教授略歴

### 大正3年(1914年)

6月21日 茨城県水戸市大工町1079に生まる。

### 昭和3年(1928年)

4月1日 茨城県立水戸中学校に入学。

### 昭和8年(1933年)

3月15日 茨城県立水戸中学校を卒業。

4月1日 東京外国語学校支那語部貿易科に入学。

### 昭和12年(1937年)

3月16日 東京外国語学校支那語部貿易科を卒業。

7月19日 横浜郵便局外国郵便課通信事務員。

### 昭和14年(1939年)

10月4日 京都府立城丹蚕業学校教諭に任ぜられた。(昭和17年4月京都府立城丹実業学校と改称される)。

### 昭和18年(1943年)

7月24日 小樽高等商業学校助教授に任ぜられた。

### 昭和19年(1944年)

4月1日 官制改正により小樽高等商業学校が小樽経済専門学校と改称されたのに伴ない、小樽経済専門学校助教授に任ぜられた。

### 昭和24年(1949年)

7月9日 官制改正により小樽経済専門学校が小樽商科大学に昇格したのに伴ない、兼ねて小樽商科大学講師に補せられた。

### 昭和26年(1951年)

3月31日 小樽商科大学に併置されていた小樽経済専門学校の廃止に伴ない、小樽商科大学講師に任ぜられた。

### 昭和27年(1952年)

10月1日 小樽商科大学助教授に昇任。

### 昭和37年(1962年)

12月16日 小樽商科大学教授に昇任。

### 昭和53年(1978年)

4月1日 小樽商科大学を停年に依り退職。

4月2日 大東文化大学教授に就任。

4月12日 小樽商科大学名誉教授の称号を授与された。

## 川上久壽名誉教授著作目録

I	著 書	発 行 年 月	発 行 所
(1)	「魯迅研究」	1962・3	くろしお出版
(2)	「中国語と中国文化」中国語学研究会関西支部編（所収の魯迅の項を望月八十吉氏と共同執筆）	1965・5	光 生 館
(3)	「中国語学新辞典」（所収従句の項）	1969・10	光 生 館
II	翻 訳 書		
(1)	「魯迅雑感選集3」岡本隆三訳（所収門外文談）	1954・11	青 木 書 店
(2)	「魯迅伝」パズネーエワ著マラダーヤ・グヴァルジャ1957年出版のもの	1971・12	波 書 房
III	論 文	発 表 年 月	掲 載 誌 名 ・ 卷 号
(1)	魯迅の雑文	1951・10	人文研究第2輯
(2)	熱風について一五・四前夜の魯迅一	1952・1	〃 第3輯
(3)	両地書にみる魯迅精神	1951・12	華僑文化第37号
(4)	魯迅文学の根源一熱風にあらわれたる一	1952・12	〃 第49号
	〃	1953・1	〃 第50号
(5)	魯迅における主奴の考察	1953・1	人文研究第5輯
(6)	魯迅から毛沢東文芸路線へ（上）	1953・4	華僑文化第53号
	〃 （下）	1953・5	〃 第54号
(7)	魯迅のヒューマニズム	1954・1	人文研究第7輯
(8)	故事新編論（一）	1955・1	〃 第9輯
	〃 （二）	1956・1	〃 第11輯
	〃 （三）	1956・12	〃 第13輯
（以上の論文を一冊にまとめたものが「魯迅研究」です）			
(9)	ソヴェト同盟における魯迅関係文献	1957・7	人文研究第14輯
(10)	ソ連人の魯迅論（一、パズネーエワ）	1958・7	〃 第16輯
	〃 （二、フェドレンコ）	1959・7	〃 第18輯
	〃 （三、サローキン）	1960・7	〃 第20輯

(10)	ソ連人の魯迅論 (四、ペトロフ)	1962・1	人文研究第23輯
(11)	ロシア・ソビエトにおける中国文学研究	1964・1	〃 第27輯
	〃 (Ⅱ)	1965・1	〃 第29輯
(12)	魯迅初期の論文にかんするバズネーエワの所論	1966・1	〃 第31輯
(13)	魯迅の曲筆と暴露	1967・1	〃 第33輯
(14)	晩年のエロシェンコ	1969・3	〃 第38輯
(15)	ソ連版画家にあてた魯迅の書簡	1969・10	〃 第39輯
(16)	陳紹禹 (王明) とその魯迅論	1971・11	〃 第43輯
(17)	露訳『野草』の注釈について	1972・8	〃 第44輯
(18)	魯迅の訳業に対するベルジングの批判	1973・3	〃 第45輯
(19)	ソ連における現代漢語「是」の研究	1975・10	〃 第50輯
(20)	「是」にかんする若干の疑問	1976・3	〃 第51輯
(21)	ソ連における瞿秋白	1976・12	〃 第52輯

#### Ⅳ 書評・学会口頭発表・翻訳など

(1)	魯迅作品論 (学会口頭発表)	1956・10	現代中国学会第七回全国大会
(2)	魯迅雑感 (書評)	1958・10月号	「書報」(極東書店)
(3)	儀我荘一郎氏の《魯迅にたいする国際的関心の諸側面》を読んで (大学生が魯迅を読むための予備知識を書いたもの)	1961・2月号	「大安」
(4)	魯迅を読むために (大学生が魯迅を読むための予備知識について書いたもの)	1966年10月号	「大安」
(5)	エヌ・テ・フェドレンコ 英雄的史詩《三国演義》 (翻訳)	1961・8	人文研究第21・22輯
(6)	バズネーエワ 魯迅の社会評論 (翻訳)	1957	「中国研究」 江南書院
(7)	〃 追憶と故事新編 (翻訳)	1957	〃
(8)	エム・イ・ソフロソフ, 水滸の言語における動詞の詞構成の原則 (翻訳)	1959・1	「中国語学」
(9)	ニキチーナ, 古代漢語の介詞と連詞 (翻訳)	1960・3	〃
(10)	エヌ・テ・フェドレンコ, 詩経研究 (翻訳)	1963・1	人文研究第25輯
(11)	エヌ・ヴェ・ソーンツェワ, 中国語の受動態 (翻訳)	1967・7	〃 第34輯
	〃 (翻訳)	1968・4	〃 第36輯
(12)	ヴェ・ヴェ・ペトロフ, 魯迅と郁達夫 (翻訳)	1971・3	〃 第42輯
(13)	ヂェラホヴツェフ, 中国の“文化革命”後における魯迅作品の運命 (翻訳)	1974・9	〃 第48輯
(14)	N. T. フェドレンコ: 詩経研究 結語 (翻訳)	1977・12	〃 第54輯